

卒後臨床研修評価機構の認定病院になりました

研修管理センター事務統括 酒井 正子



当院は、基幹型臨床研修病院に指定されてから10年が経過し、これまで27名の研修医が2年間の研修を修了し県内外で活躍しています。現在は12名の研修医が指導医と共に診療に当たっています。

この度、臨床研修の充実を図るため外部評価を受審し、4月1日付けで4年間の認定を受けました。群馬県では2番目の認定病院となり、外部審査員から「指導医の先生方が熱心に指導に当たっていて院内の協力体制も充実している。」と高評価をいただきました。

また、昨年患者・ご家族さまから研修医アンケートを実施し、いろいろなお意見をいただきました。将来を担う優秀な医師を育てるため、医師会の先生方をはじめ、地域の皆様のご協力をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

研修理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割と医療チームの一員であることを認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けると同時に医療安全への配慮を身に付けることを基本理念とする。



卒後研修機能評価認定証



第18号 発行日：平成27年5月15日

特集 紹介状について 小児科医の紹介

紹介状のはなし

副院長兼地域医療支援連携センター長 甲賀 英明



日本では患者さんは受診する医療機関を自由に選ぶことができます。軽い症状でも大きな病院にかかる患者さんも多く、その病院で働く勤務医に大きな負担となっています。

当院は専門的な検査や診察、入院治療等を分担し、かかりつけの診療所で慢性期や軽症の患者さんの治療を行うなど、医療機関の役割分担を明確にしています。一般的には、初診で大きな病院へ行くよりも町の診療所へいったほうが医療費が安くなるしくみとなっています。

こうした機能分担は、限りある医療資源の有効活用となり、さらには地域の医療を守ることに繋がります。この趣旨をご理解いただき、当院外来を受診される場合にはかかりつけの先生からの紹介状をお持ちくださいますようお願いいたします(救急はこの限りではありません)

◎紹介状があると

現在までの症状、服薬中の薬、アレルギー等の有無が把握できるため、スムーズに診療することができ、待ち時間が短くなります。重複した検査を避けられ、重複した投薬を避けることができます。紹介状がないと問診だけでも相当時間がかかってしまいます。

◎紹介状をお持ちでない場合のご注意

これまでの治療経過がわからないため、同じ検査等を再度行う必要があります。また待ち時間が長くなる場合があります。

◎かかりつけの先生を持ちましょう

当院では近隣医療機関との機能分担を図るため、相互の紹介を積極的に推進しています。まず、地域の診療所で診療を受けてください。その上で相談の上、当院での診療を望まれる場合には「紹介状」を書いていただくようにしましょう。

平成29年度病棟移転とともに、紹介中心の外来となります。その趣旨へのご理解をお願いいたします。外来受診のしかたについては、公立藤岡総合病院のホームページも見てみましょう。

今年の新人看護師さん達です



病院の理念 基本方針 「患者本位の医療」
患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実を目指します。
地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
地域医療支援病院として地域の医療人の教育研修の充実強化に努めます。



小児科医のご紹介

小児科 フカザワ 深澤 ノブヒロ 信博

当院は昭和26年の開設ですが、本格的な小児科の開設は昭和53年4月です。常勤医2人と非常勤医1人の体制で始まりました。開設後患者数が飛躍的に増え、昭和60年には県立養護学校の分教室が開設され、昭和61年には小児科病棟が59床に増床となり混合病棟から単独病棟になりました。

現在は、少子化、予防接種の普及、医療体制の変化などにより43床の混合病棟です。小児科の入院は年間を通して1日10人前後ですが瞬間的には0人、年末年始には20人前後にもなります。43床の中に新生児が6床入ります。常時1～2名の入院ですが5名を超える時もあります。

平成27年度は入院棟で常勤医4名、深澤信博、渡部登志雄、懸川聡子、相馬洋紀です。外来棟は常勤医1名、川嶋伸明です。

外来は、午前中が一般外来、午後は予約を必要とする専門外来です。午後の予約外診療は必要により入院棟の救急外来で対応しています。

平成27年度から当院小児科が群馬県内の小児腎疾患の拠点病院になります。今までは小児腎臓病の専門医が1人で頑張っていました。当院には腎臓内科と泌尿器科があり画像検査も出来るため、新たに渡部医師と懸川医師が加わり小児科腎臓病専門医3人態勢となりました。また慢性疾患患児が増えることを想定して、廃校予定であった養護学校は維持継続できることになりました。腎生検が施行可能で腎疾患の治療や長期経過観察の出来る施設を目指していきたいと思えます。



深澤先生 懸川先生 渡部先生 相馬先生 川嶋先生

第13回ふれあい健康教室

開催日：平成27年6月6日（土）

場 所：公立藤岡総合病院附属外来センター

| | 時 間 | 行 事 名 |
|-------------|-----------|---|
| 催 し 物 | 午前9時～ | お薬なんでも相談 |
| | 午前10時～ | ミニ・コンサート（藤岡中央高校 吹奏楽部） |
| | 午前11時15分～ | 講演会「糖尿病にならないために！」 ①「糖尿病とは」 河合 弘進 副センター長（腎臓内科） ②「食事・運動で予防」 管理栄養士・理学療法士 |

どなたでもお気軽に参加できます（参加無料）

糖尿病とは

附属外来センター 総合診療科
カワイ ヒロノブ
河合 弘進

糖尿病とは、膵臓から出るインスリンの作用が足りないために血糖が高くなる病気で、多くは食べ過ぎや運動不足などの生活習慣が原因といわれます。

はじめは症状がないので放置してしまいがちですが、高血糖が長く続くと血管や腎臓、神経、眼などが傷んでしまいます。早期発見、早期治療が大切ですが、治療は食事療法、運動療法が基本ですので、難しい事はありません。

さあ皆さん、一緒に糖尿病について勉強しましょう！

自動精算機設置について

6月8日（月）より外来センターに自動精算機3台が設置されます。

患者さまのお名前を呼ばず、支払い待ち時間を短くするために、総合受付に表示板を設置、自動精算機のご利用ができます。又、自動精算機には常時担当者がおり、操作説明等のご案内をします。

文責 医事情報課長 小林ゆかり

